

第8期柏市高齢者いきいきプラン21 一覧

【評価の目安】

◎：計画を上回って進んでいる・・・・・・100%超	×：計画の取り組みが遅れ、見直しが必要である・・・・・・60%未満
○：ほぼ計画どおり進んでいる・・・・・・80～100%	！：未評価（新型コロナウイルスの影響により評価不可も含む）
△：計画よりやや取り組みが遅れている・・・・・・60～80%	

章 節		基本理念		評 価			主担当課	
		政策目標	重点施策					
				主な取り組み名	事 業 名	R3		R4
—	—	すべての高齢者が、その人らしく、住み慣れた地域で 安心していきいきと暮らせるまち 柏					高齢者支援課（計画調整）	
1	—	健康寿命を延伸し いきいきと暮らせる					高齢者支援課（計画調整）	
1	1	フレイル予防・健康づくりの推進					地域包括支援課	
1	1		フレイル予防プロジェクト2025の推進	フレイル予防プロジェクト2025の推進委員会	○	○	○	健康政策課
1	1		かしわフレイル予防ポイント制度	かしわフレイル予防ポイント	◎	◎	◎	地域包括支援課
1	1		フレイルチェックを通じたフレイル予防の推進	フレイルチェックの普及・啓発	△	○	◎	地域包括支援課
1	1			フレイル予防サポーターの育成・支援	○	◎	◎	地域包括支援課
1	1			住民主体のフレイル予防活動への支援	×	○	△	地域包括支援課
1	1		高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施	各種データ分析・地区診断	○	○	○	地域包括支援課
1	1			生活習慣病の予防及び重症化予防	○	○	○	健康増進課
1	1			医療専門職によるフレイル予防のための相談、支援	○	○	○	地域包括支援課
1	2	多様な社会参加の促進					地域包括支援課	
1	2		高齢者就労・社会参加の拡充	生涯現役促進協議会の運営	○	○	○	健康政策課
1	2		地域でのボランティア活動の推進	地域でのボランティア活動の推進	△	○	△	柏市社会福祉協議会
1	2			地域いきいきセンター運営・整備事業	○	○	○	柏市社会福祉協議会
1	2		多様な居場所の創出	通いの場等の運営支援	△	△	△	地域包括支援課
1	2			老人福祉センターの管理運営	△	○	○	高齢者支援課（いきがよい）
1	2			高齢者団体への支援	△	△	○	高齢者支援課（いきがよい）
2	—	助けが必要でも住み慣れた地域で安心して暮らせる					高齢者支援課（計画調整）	
2	—							
2	1	地域での支えあい体制の推進					地域包括支援課	
2	1		生活支援体制の充実	支えあい会議の効果的な実施	×	△	◎	地域包括支援課
2	1			たすけあいサービス団体の支援	◎	◎	○	地域包括支援課
2	1		多様な居場所への参加促進	通いの場等の運営支援	△	△	△	地域包括支援課
2	1			フレイル予防ポイント制度を活用した地域の多様な関係者との連携	◎	◎	◎	地域包括支援課
2	1		見守り体制の充実	柏市防災福祉K-Netの支援体制の構築	○	○	○	福祉政策課
2	1			見守りネットワーク事業	○	○	○	福祉政策課
2	1		相談機関の整備	福祉総合相談窓口（断らない総合相談窓口）の設置	○	○	○	福祉政策課
2	1			地域いきいきセンター運営・整備事業（再掲）	○	○	○	柏市社会福祉協議会
2	2	多様な生活支援ニーズに対する支援					地域包括支援課	
2	2		多様な生活支援サービスの把握と情報の発信	サービス利用状況や事業者情報の把握と発信	○	○	○	地域包括支援課
2	2		介護支援専門員による効果的なケアマネジメントへの支援	地区別研修会・介護予防ケアマネジメント研修会・主任介護支援専門員研修会の実施	◎	◎	◎	地域包括支援課
2	2			柏市介護支援専門員協議会への支援	○	○	◎	地域包括支援課
2	3	認知症施策の推進					地域包括支援課	
2	3		認知症の正しい知識と理解の普及・啓発	認知症サポーター養成講座	◎	◎	◎	地域包括支援課
2	3			かしわ認知症対応ガイドブックの活用による普及啓発	◎	◎	◎	地域包括支援課
2	3		予防（認知症になるのを遅らせる、認知症になっても進行を緩やかにする）	生活習慣病の予防や社会参加の促進に関連する取り組み	○	△	△	地域包括支援課
2	3		医療・ケア・介護サービス・介護者への支援	認知症初期集中支援チームによる支援	○	○	○	地域包括支援課
2	3			認知症カフェの開催・支援	◎	◎	◎	地域包括支援課
2	3			認知症相談支援体制の充実	○	◎	◎	地域包括支援課
2	3		認知症バリアフリーの推進	かしわオレンジSOSネットワーク事業	◎	◎	◎	地域包括支援課

第8期柏市高齢者いきいきプラン21 一覧

【評価の目安】

◎：計画を上回って進んでいる・・・・・・100%超	×：計画の取り組みが遅れ、見直しが必要である・・・・・・60%未満
○：ほぼ計画どおり進んでいる・・・・・・80～100%	！：未評価（新型コロナウイルスの影響により評価不可も含む）
△：計画よりやや取り組みが遅れている・・・・・・60～80%	

基本理念		政策目標		評 価			主担当課	
章	節	重点施策		R3	R4	R5		
		主な取り組み名	事 業 名					
3	ー	介護度が重度であっても望む暮らしを選択できる					高齢者支援課（計画調整）	
3	1	介護サービス等の基盤整備					高齢者支援課（計画調整）	
3	1	介護サービスの整備	施設・居住系介護サービスの公費による格備	○	○	△	高齢者支援課（施設）	
3	1		在宅での暮らしを支えるサービスの整備	△	○	△	高齢者支援課（施設）	
3	1		在宅福祉サービスの実施	△	△	○	高齢者支援課（サービス）	
3	1	介護人材の確保	介護人材確保対策事業	○	○	○	高齢者支援課（施設）	
3	1		介護資格取得の受講費用に対する補助	◎	○	○	高齢者支援課（施設）	
3	1		人手不足でもサービスの質の維持・向上を実現するための介護事業者への支援	○	○	○	高齢者支援課（施設）	
3	1		文書負担削減の取り組み	－	－	○	指導監査課	
3	1		介護関係団体への支援	○	○	○	高齢者支援課（施設・計画調整）	
3	2	介護保険制度の持続可能性の確保					高齢者支援課（計画調整）	
3	2	介護保険事業の適正な運営	柏市ケアマネジメントに関する基本方針	○	○	○	高齢者支援課（サービス） 地域包括支援課	
3	2		介護給付の適正化の推進	△	△	△	高齢者支援課（認定審査）	
3	2			○	△	○	高齢者支援課（サービス）	
3	2		適正化システムを活用した給付分析	×	△	○	高齢者支援課（サービス）	
3	2		介護サービス事業所への集団指導の実施	×	○	○	指導監査課	
3	2		介護サービス事業所への個別指導（実地指導）の実施	×	－	○	指導監査課	
3	2		身体拘束の廃止研修の実施	×	－	△	指導監査課	
3	2		制度の適切な利用等についての周知啓発	○	○	○	高齢者支援課（計画調整）	
3	3	在宅医療・介護の連携の推進					地域医療推進課	
3	3	在宅医療・介護多職種連携の向上	顔の見える関係会議	○	◎	◎	地域医療推進課	
3	3		在宅医療推進のための多職種連携研修会	－	－	◎	地域医療推進課	
3	3		情報共有システム運用・管理	○	△	○	地域医療推進課	
3	3	在宅医療提供体制の整備	訪問看護ステーション基盤強化	○	◎	○	地域医療推進課	
3	3		病院と在宅との連携強化研修会	△	△	○	地域医療推進課	
3	3		看取り体副構築に対する支援	○	○	○	地域医療推進課	
3	3	地域住民への普及啓発	在宅医療啓発事業	△	○	○	地域医療推進課	
3	3	地域医療拠点（柏地域医療連携センター）の運営	在宅医療相談	○	○	○	地域医療推進課	
4	ー	意思が尊重され自立して暮らせる					高齢者支援課（計画調整）	
4	1	地域包括支援センターの機能強化					地域包括支援課	
4	1	総合相談支援機能の充実	介護予防・生活支援サービス事業（介護予防ケアマネジメント）	○	◎	◎	地域包括支援課	
4	1		総合相談支援業務	○	○	○		
4	1		地域包括支援センターの活動評価	地域包括支援センター事業評価の実施	◎	◎	◎	地域包括支援課
4	1		地域包括支援センターの適正配置	地域包括支援センターの適正配置	○	○	△	地域包括支援課
4	2	権利擁護の充実					地域包括支援課	
4	2	高齢者虐待防止の相談支援	（仮称）柏市権利擁護ネットワーク 高齢者部会運営会議の開催	○	◎	◎	地域包括支援課	
4	2		地域包括支援センターでの相談・対応	◎	◎	◎	地域包括支援課	
4	2		高齢者緊急一時保護事業	◎	◎	◎	地域包括支援課	
4	2	成年後見制度の普及啓発	成年後見制度に関する相談	○	◎	◎	地域包括支援課	
4	2		市民後見人の育成、活動支援	○	◎	◎	地域包括支援課	
4	2		成年後見制度利用促進のための中核機関の設置	○	○	◎	地域包括支援課	
4	2	特殊詐欺や消費者トラブルの未然防止		△	△	○	防災安全課	
4	2		特殊詐欺や消費者トラブルの未然防止		○	◎	◎	消費者生活センター
4	3	多様な主体との地域づくりの推進					高齢者支援課（計画調整）	
4	3	超高齢社会のまちづくりモデル	産官学で取り組む先進的なまちづくり	○	○	○	健康政策課	
4	3	関係団体等との連携体制の整備	生活支援体制を整備するための、多様な組織との連携	○	○	◎	地域包括支援課	
4	3		地域共生社会の実現	○	○	○	柏市社会福祉協議会 福祉政策課	
4	3	都市・交通政策部門との連携	住まいの確保や住まいの選択を支援する体制整備	○	○	○	住宅政策課	
4	3		高齢者の外出や社会参加を促進するためのまちづくり	○	○	○	交通政策課	

【政策目標】 健康寿命を延伸し いきいきと暮らせる

政策目標名	指標				
	項目	基準値	令和4年度	令和5年度	
			実績	指標	実績
健康寿命を延伸し、いきいきと暮らせる	【アウトカム】初めて介護が必要になるかたの平均年齢	80.7 歳	81.8	—	82.0

【重点施策】 フレイル予防・健康づくりの推進

重点施策名	指標				
	項目	基準値	令和4年度	令和5年度	
			実績	指標	実績
フレイル予防・健康づくりの推進	【アウトカム】フレイル予防カードを利用してフレイル予防に取り組む市民の数	2,000 人	20,999	8,000	24,166

【主な取り組み】 フレイル予防プロジェクト2025の推進

事業名	指標					令和5年度の取組状況，令和6年度の取組予定 等	令和5年度の評価	コロナの影響
	項目	基準値	令和4年度	令和5年度				
			実績	指標	実績			
フレイル予防プロジェクト2025の推進委員会	フレイルを知っている人（浸透度）の割合	41 %	56	—		令和5年度も推進委員会を2回開催し，関係機関の活動報告及び意見交換を行った。啓発活動においては，市内商業施設等でフレイルの啓発イベントを開催しフレイルの認知度向上を図った。また，啓発物としてエコバッグやパンフレットの作成を行い効果的な啓発活動のための準備を行った。令和6年度は，かしわフレイル予防ポイント制度が年度末で終期を迎えることから，アプリ化等の移行を検討，実施していく。	○	

【主な取り組み】 かしわフレイル予防ポイント制度

事業名	指標					令和5年度の取組状況，令和6年度の取組予定 等	令和5年度の評価	コロナの影響
	項目	基準値	令和4年度	令和5年度				
			実績	指標	実績			
かしわフレイル予防ポイント	フレイル予防カードを利用してフレイル予防に取り組む市民の数（再掲）	2,000 人	20,999	8,000	24,166	フレイル予防活動を行う市民の増加に対応するため，全近隣センターでのポイント付与端末の貸出を開始した。ポイントを付与しやすい環境を整備することで，更なる参加希望者の増加を図った。啓発活動においても，市内大型ショッピングセンターでイベントを実施するなど，制度の周知に努めた。令和6年度は，引き続き事業を推進することに加え，本制度の業務委託が今年度末で契約満了を迎えるため，事業の見直しと次年度以降の事業について，利用者への周知啓発を図る。	◎	

【主な取り組み】 フレイルチェックを通じたフレイル予防の推進

事業名	指標					令和５年度の取組状況，令和６年度の取組予定　等	令和５年度の 評価	コロナ の影響
	項目	基準値	令和4年度	令和5年度				
			実績	指標	実績			
フレイルチェックの普及・啓発	フレイルチェック講座の参加者数	1,050　人	1,157	1,300	1,453	新型コロナウイルス感染症が感染症法の５類に変更されたことに伴い，フレイルチェックを希望する団体が増え，指標を上回る参加者数であった。令和６年度もサロン等への積極的な働きかけを通じて，フレイル予防の普及啓発を行う。なお，感染対策については，流行状況に応じた対策を適宜実施していく。	◎	
フレイル予防サポーターの育成・支援	フレイル予防サポーターの活動回数（啓発活動や研修を含む）	61　回	115	100	154	例年に比べ，サポーターのエリア別活動等が活発であったため，昨年度よりも活動回数が増加した。また，サポーター養成講座を開催し，新たに23名のサポーターが誕生した。令和６年度においてもサポーターの養成講座を行い，フレイルチェックの実施体制を整えると共に，サポーター同士が協力しながら，継続的に活動できるよう支援を行う。	◎	
住民主体のフレイル予防活動への支援	フレイル予防・健康づくり出前講座の実施回数	105　回	108	210	130	地域のサロン等からの申込みにより出前講座を実施。令和５年度から新規開設した講座（もの忘れ予防）の申込件数が増加した。通いの場を中心に，フレイルチェック講座の実施について積極的に働きかけを行ったことや，新型コロナウイルス感染症が感染症法の５類に変更されたこと等から，活動を再開する団体が増え，実施件数が令和４年度と比較して増加した。指標値には達しなかったため，令和６年度も引き続き，通いの場やサロン等に働きかけていく。	△	有

【主な取り組み】 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施

事業名	指標					令和５年度の取組状況，令和６年度の取組予定　等	令和５年度の評価	コロナの影響
	項目	基準値	令和4年度	令和5年度				
			実績	指標	実績			
各種データ分析・地区診断	各種データ分析・地区診断の実施	－　－	実施	実施	実施	K D Bデータ等を活用し，高齢者の医療・介護・健診情報から地域の健康課題や取組み評価に繋がる分析を行った。特に令和５年度は「かしわフレイル予防ポイント制度」における分析を中心に行い，アンケート調査や地域ごとの活用状況分析，同制度のデータとK D Bのデータを使用した関連性の分析を実施。また，健康とくらしの調査のデータを使用し，　7５歳以上の高齢者の傾向を確認できた。 令和６年度は令和３年度より開始したモデル地域での取り組みの効果検証を中心に分析を進める予定。	○	
生活習慣病の予防及び重症化予防	特定健康診査受診率の向上	42.3　％	44.2	44.4	未確定	第２期保健事業実施計画（データヘルス計画）中間評価を令和２年度に行ったことに伴い指標を見直し，令和元年度の特定健康診査の受診率の実績（4 6. 8％）に合わせ上方修正をしている。令和２年度から新型コロナウイルス感染症の感染拡大により，受診率は伸び悩んだが，令和４年度4 4. 2％と目標値には届かなかったが，少しずつ受診率を盛り返している。 令和５年度は，受診勧奨通知の見直しを行い，4 0歳になる方，受診率の低い4 0から5 0歳の男性をターゲットとした勧奨通知の他，不定期受診者宛ての通知には，直近の検査数値を掲載し，個別性を持たせた通知を送付した。 令和６年度も上記事業を継続する。その他，庁内や民間団体の連携を得ながら，若い世代への健診受診のポピュレーションアプローチを行う。新規事業として千葉県が行う「市町村国保が行う重複服薬患者の保健指導への薬剤師派遣の希望調査」を活用した多剤服薬者への相談支援事業，および，利便性向上と健診受診を促すため，集団健康診査の予約の電子申請を開始する。 令和５年度の実績数は令和６年1 1月に確定する。	○	
医療専門職によるフレイル予防のための相談，支援	医療専門職によるフレイル予防のための相談，支援の実施	－　－	実施	実施	実施	フレイルチェック講座及び後期高齢者の健康診査等による質問票により，フレイル傾向の見られるハイリスク者を抽出し，医療専門職による専門的支援を実施した。また，国保加入者を対象に実施されている糖尿病性腎症重症化予防プログラムの対象を後期高齢者まで広げ実施している機会を活用し，受講者に対するフレイル予防の啓発と相談を行った。なお，令和５年度はモデル地域における通いの場やサロンへのフレイル予防講座を行い，支援が必要な方を専門職支援につなげた。令和６年度は対象地域を拡大し，引き続き支援を継続していく。	○	

【政策目標】 健康寿命を延伸し いきいきと暮らせる

【重点施策】 多様な社会参加の促進

重点施策名	指標				
	項目	基準値	令和4年度	令和5年度	
			実績	指標	実績
多様な社会参加の促進	【アウトカム】友人・知人と会う頻度が高い（月に1回以上の）人の割合	69 %	61.5	—	—

【主な取り組み】 高齢者就労・社会参加の拡充

事業名	指標					令和5年度の取組状況，令和6年度の取組予定 等	令和5年度の評価	コロナの影響
	項目	基準値	令和4年度	令和5年度				
			実績	指標	実績			
生涯現役促進協議会の運営	生涯現役促進協議会による求人開拓件数	260 件	192	200	190	コロナウイルスの影響により，企業への訪問に行けないなどあるが，指標近くまで獲得することができた。引き続き，多様な求人票の獲得に努めていく。セミナーについては，参加者の要望・希望に添えることができるよう，アンケート集約・振り返りなどを行い，次回セミナーへ反映させたことで満足度が上がったセミナーもあるが，令和5年度に初めて開催したセミナーで参加者の希望した内容でなかった部分もあり，満足度が下がってしまった。令和6年度開催については，アンケート結果を基に内容を変更しセミナーを開催していく。	○	有
	生涯現役促進協議会実施事業(セミナー，窓口)利用者満足度	90 %	94	90	86.6			

【主な取り組み】 地域でのボランティア活動の推進

事業名	指標					令和5年度の取組状況，令和6年度の取組予定 等	令和5年度の 評価	コロナ の影響
	項目	基準値	令和4年度	令和5年度				
			実績	指標	実績			
地域でのボランティア活動 の推進	月に1回以上ボランティア に参加する割合	13 %	12.6	—		ボランティアセンターに登録しているボランティアのうち活動のないボランティアを整理したため、実績値としては減少した。（3,285→3,065）なお、令和5年度のボランティア活動についての相談数は2,400件と前年度より261件の伸びが見られる。令和6年度は、沼南エリアでのボランティア養成講座を開催する等、さらなる登録者数の拡大を図るとともに、個人ボランティアとしての活動の幅を広げる。	△	
	ボランティアセンターへの ボランティアの登録者数	3,842 人	3,285	4,030				
地域いきいきセンター運営・整備事業	地域いきいきセンターの設置 か所数	7 か所	9	10	10	令和5年5月，市内10カ所目の新田原地域いきいきセンターを開所した。また，令和6年度5月には風早北部地域いきいきセンターの新規開設が控えており，令和5年度中に地域及び関係機関と調整を図り準備を進めた。令和6年度以降の開設候補地について，柏市関係課との打ち合わせを実施した。	○	

【主な取り組み】 多様な居場所の創出

事業名	指標					令和 5 年度の取組状況，令和 6 年度の取組予定 等	令和 5 年度の評価	コロナの影響
	項目	基準値	令和4年度	令和5年度				
			実績	指標	実績			
通いの場等の運営支援	通いの場の数	26 か所	21	46	20	コロナ禍の影響により，5 類となっても新たな通いの場を立ち上げるまでにいたらず指標には届かなかったが，支えあい推進員が地域のニーズに応え，担い手の確保や活動場所の周知，運営方法の助言など，多方面の働きかけにより後方支援を行った。令和 6 年度においては，高齢者個人のニーズと地域資源のマッチングを目指していく。	△	有
老人福祉センターの管理運営	利用人数	109,000 人	71,446	100,000	74,187	新型コロナウイルスの影響が根深く，利用人数はコロナ禍以前には戻っていない状況である。しかし全老人福祉センターにおいて老人福祉センターまつりを開催するなど，実施イベントについては，コロナ禍以前に戻りつつある。感染症対策として，状況に応じたマスク着用の呼びかけ，館内の消毒や消毒液の配置等を行ってきた。令和 6 年度は，感染症対策をしつつ，引き続きイベント等も充実させることで利用者増加を目指したい。	○	有
高齢者団体への支援	団体数	91 団体	73	90	67	新型コロナウイルスの影響が尾を引き，引き続き活動に制限をかけていたり，高齢者のライフスタイルが一昔前と比べ大きく変化したりしていることから，登録団体数はなかなか増加には転じない状況である。しかし，令和 5 年度は中止していた行事を復活させるなど，感染対策を継続しながらではあるが，停滞していた団体活動を推進させた。令和 6 年度には新たな行事の計画も進めており，引き続き活動の活性化に向けて支援していく。	○	有

【政策目標】 助けが必要でも住み慣れた地域で安心して暮らせる

政策目標名	指標				
	項目	基準値	令和4年度	令和5年度	
			実績	指標	実績
助けが必要でも住み慣れた地域で安心して暮らせる	【アウトカム】認知症のかたの在宅率	63.2 %	64.5	—	65.1
	【アウトカム】軽度者（要支援1から要介護1）の要介護度の維持・改善率	61.9 %	60.9	—	56.9

【重点施策】 地域での支えあい体制の推進

重点施策名	指標				
	項目	基準値	令和4年度	令和5年度	
			実績	指標	実績
地域での支えあい体制の推進	【アウトカム】近所での助け合い、地域での見守りがあると感じる人の割合	69 %	—	—	—

令和2年度柏市まちづくり推進のための調査より入力
（令和3年度以降は調査項目なし）

【主な取り組み】 生活支援体制の充実

事業名	指標					令和5年度の取組状況，令和6年度の取組予定　等	令和5年度の評価	コロナの影響
	項目	基準値	令和4年度	令和5年度				
			実績	指標	実績			
支えあい会議の効果的な実施	支えあい会議への参加者数 (延べ件数)	760　人	480	600～1,000	1,010	コロナ禍の経験から，We b会議や少人数のコア会議とするなど地域により工夫がなされ，多くの地域で会議を開催し，現状報告や課題などの情報共有を行うことができた。令和6年度においては，地域に合わせネットワークを構築・強化できるよう多様な組織が参加できる会議を開催する。	◎	有
たすけあいサービス団体の支援	たすけあい活動団体数	67　か所	73	74	70	コロナ禍の影響により休止していた団体が，5類となっても活動を再開できず解散となり，指標にいたらなかったが，新しい団体の立ち上げ準備をしている地域も出てきており，活動に向けて支援をしている。令和6年度においても立ち上げ準備や個々の困り事へ十分対応できるよう支援する。	○	有

【主な取り組み】 多様な居場所への参加促進

事業名	指標					令和5年度の取組状況，令和6年度の取組予定 等	令和5年度の評価	コロナの影響
	項目	基準値	令和4年度	令和5年度				
			実績	指標	実績			
通いの場等の運営支援	通いの場の数（再掲）	26 か所	21	46	20	コロナ禍の影響により，5 類となっても新たな通いの場を立ち上げるまでにいたらず指標には届かなかったが，支えあい推進員が地域のニーズに応え，担い手の確保や活動場所の周知，運営方法の助言など，多方面の働きかけにより後方支援を行った。令和6年度においては，高齢者個人のニーズと地域資源のマッチングを目指していく。	△	有
フレイル予防ポイント制度を活用した地域の多様な関係者との連携	フレイル予防ポイント対象事業数の増加	120 か所	506	180	774	対象事業数の増加に対応するため，市民からの要望も多かった近隣センターでの端末の貸出を全館で開始した。また，シルバー人材センターと調整を図り，平日の夜間や土・日曜日，祝日も対応できるよう環境整備を行った。引き続き利用者が活動しやすい環境整備に努める。	◎	

【主な取り組み】 見守り体制の充実

事業名	指標					令和5年度の取組状況，令和6年度の取組予定 等	令和5年度の評価	コロナの影響
	項目	基準値	令和4年度	令和5年度				
			実績	指標	実績			
柏市防災福祉K-Netの支援体制の構築	K-Net名簿の提供率	93 %	94	95	94	令和5年度は，引き続き避難行動要支援者名簿の管理（申請受理・死亡等の情報更新）を行い，名簿記載者のうち平時からの情報提供に同意された者を取りまとめた「防災福祉K-Net名簿」を町会等へ提供し，希望された町会等の団体を対象とした出前講座の他，研修動画をホームページに掲載し，K-Net概要説明や先進事例紹介などを行った。また，新規避難行動要支援者の抽出及び登録勧奨通知の発送を行い，防災福祉K-Net制度の周知及び登録者の増加に努めた。 令和6年度は，名簿の登録内容の整備のため，登録者への内容確認と修正を検討していく。	○	有
	支援体制の構築	68 %	79	69	81			
見守りネットワーク事業	協定締結事業者数	17 事業者	23	26	24	令和5年度は15件の通報対応を行い，必要に応じ適切な福祉サービスに繋げた。加えて，新たに1事業者と協定を締結した。令和6年度は，協定締結事業者数が充実してきたため，協定締結事業者に向けて事業の理解促進や事案発生時に適切な対応をとることができるよう周知啓発を行っていく。	○	有

【主な取り組み】 相談機関の整備

事業名	指標					令和5年度の取組状況，令和6年度の取組予定 等	令和5年度の評価	コロナの影響
	項目	基準値	令和4年度	令和5年度				
			実績	指標	実績			
福祉総合相談窓口（断らない総合相談窓口）の設置	福祉総合相談窓口の実施	— —	実施	実施	実施	ラコルタ柏1階に窓口を開設している。令和5年度の総合相談における受付件数（困窮は除く）は3,459件であり，福祉分野と福祉分野以外の複雑・複合化した相談が増加している。令和6年度以降も引き続き属性にとられない相談を受け付け，相談の入口を強化するとともに，かしまる（重層的支援体制整備事業）とも連携して，一体的な支援を実施していく。	○	
地域いきいきセンター運営・整備事業（再掲）	地域いきいきセンターの設置か所数（再掲）	7 か所	9	10	10	令和5年5月，市内10カ所目の新田原地域いきいきセンターを開所した。また，令和6年度5月には風早北部地域いきいきセンターの新規開設が控えており，令和5年度中に地域及び関係機関と調整を図り準備を進めた。令和6年度以降の開設候補地について，柏市関係課との打ち合わせを実施した。	○	

【政策目標】 助けが必要でも住み慣れた地域で安心して暮らせる

【重点施策】 多様な生活支援ニーズに対する支援

重点施策名	指標					
	項目	基準値	令和4年度	令和5年度		
			実績	指標	実績	
多様な生活支援ニーズに対する支援	【アウトカム】在宅での暮らしを支援する介護サービスが充実していると感じる人の割合	31 %	-	47	-	令和2年度柏市まちづくり推進のための調査より入力 (令和3年度は調査なし)

【主な取り組み】 多様な生活支援サービスの把握と情報の発信

事業名	指標					令和5年度の取組状況，令和6年度の取組予定 等	令和5年度の評価	コロナの影響
	項目	基準値	令和4年度	令和5年度				
			実績	指標	実績			
サービス利用状況や事業者情報の把握と発信	サービス利用件数（延べ）	32,335 件	34,115	39,626	36,041	コロナ禍の影響にてサービスの利用控えが生じていたが、柏市独自のサービス（訪問型サービスA）等の提供についてホームページやチラシにて周知し，年度を通してサービス全体の利用件数の増加がみられた。令和6年度においても，必要なサービスが利用できるよう引き続き市民や地域包括支援センター，関係者に対する周知を図る。	○	有

【主な取り組み】 介護支援専門員による効果的なケアマネジメントへの支援

事業名	指標					令和5年度の取組状況，令和6年度の取組予定 等	令和5年度の評価	コロナの影響
	項目	基準値	令和4年度	令和5年度				
			実績	指標	実績			
地区別研修会・介護予防ケアマネジメント研修会・主任介護支援専門員研修会の実施	地区別研修会の参加者アンケート「理解した」割合	－ %	95	80	96.2	・市内12か所の地域包括支援センターでは合計42回（複数センター合同での回数含む）の地区別研修を実施した。 ・介護予防ケアマネジメント研修を参集型で年1回実施。地域包括支援センター及び居宅介護支援事業所の介護支援専門員計82人が参加した。本人が望む生活の実現に向けて，適切なアセスメントの実施方法について学びケアマネジメントの質の向上を図った。 ・主任介護支援専門員研修会を参集型で年1回実施。自立支援型ケアマネジメントの手法について研修を行い技術向上を図った。 ・令和6年度も介護予防ケアマネジメント研修等を実施し，効果的なケアマネジメントを支援する。	◎	有
	介護予防ケアマネジメント研修会の実施	1 回	1	1	1			
	主任介護支援専門員研修会の実施	1 回	1	1	1			
柏市介護支援専門員協議会への支援	自立支援及び重度化防止のための啓発	1 回	1	1	1	4月の柏市介護支援専門員協議会総会において，柏市ケアマネジメントに関する基本方針を周知し，重度化防止に向けた考え方を共有した。同基本方針は，市ホームページやカシワニネットにも掲載している。 令和6年度も引き続き，周知啓発を図っていく。	◎	

【政策目標】 助けが必要でも住み慣れた地域で安心して暮らせる

【重点施策】 認知症施策の推進

重点施策名	指標				
	項目	基準値	令和4年度	令和5年度	
			実績	指標	実績
認知症施策の推進	【アウトカム】認知症の相談先を知っている人の割合	47 %	44.6	-	-

【主な取り組み】 認知症の正しい知識と理解の普及・啓発

事業名	指標					令和5年度の取組状況，令和6年度の取組予定 等	令和5年度の評価	コロナの影響
	項目	基準値	令和4年度	令和5年度				
			実績	指標	実績			
認知症サポーター養成講座	認知症サポーター養成講座受講者数（累計）	29,972 人	36,405	39,000	39,232	地域包括支援センターと連携のもと、中学校等、多世代向けの啓発を重点的にを行い、受講者数を増加させることができた。令和6年度も地域包括支援センターと連携し、市民に限らず民間事業者等への働きかけにより、認知症サポーターを増やし、認知症の理解促進を図る。	◎	
かしわ認知症対応ガイドブックの活用による普及啓発	かしわ認知症対応ガイドブック配布数（累計）	15,026 部	21,161	22,500	23,610	市内12か所の地域包括支援センター、1か所の相談窓口、ラコルタ柏1階に配架、認知症の相談時や認知症サポーター養成講座の参加者に配布。また、フレイル予防関連のイベント時にも参加した市民へ配布し、認知症の普及啓発を行った。令和6年度においても、様々な機会を捉えて、多くの市民に配布することで認知症の理解促進を図る。	◎	

【主な取り組み】 予防（認知症になるのを遅らせる，認知症になっても進行を緩やかにする）

事業名	指標					令和5年度の取組状況，令和6年度の取組予定 等	令和5年度の評価	コロナの影響
	項目	基準値	令和4年度	令和5年度				
			実績	指標	実績			
生活習慣病の予防や社会参加の促進に関する取り組み	通いの場の数（再掲）	26 か所	21	46	20	コロナ禍の影響により，5類となっても新たな通いの場を立ち上げるまでにいたらず指標には届かなかったが，支えあい推進員が地域のニーズに応え，担い手の確保や活動場所の周知，運営方法の助言など，多面的な働きかけにより後方支援を行った。令和6年度においては，高齢者個人のニーズと地域資源のマッチングを目指していく。	△	有

【主な取り組み】 医療・ケア・介護サービス・介護者への支援

事業名	指標					令和5年度の取組状況，令和6年度の取組予定 等	令和5年度の評価	コロナの影響
	項目	基準値	令和4年度	令和5年度				
			実績	指標	実績			
認知症初期集中支援チームによる支援	認知症初期集中支援チーム数	1 か所	1	1	1	認知症初期集中支援チームを認知症疾患医療センターに委託することで、双方の部門が一体的に対応でき、医療につながっていない事案に対し、迅速に鑑別診断が行える体制となっている。チーム員会議において、支援方針に対し医師から助言をもらい、地域包括支援センターとチーム員が役割分担を行い、連携をとりながら、ケース支援にあたっている。令和6年度も認知症疾患医療センター、地域包括支援センター等関係機関と連携をとり、速やかに適切な医療が受けられる初期の対応を目指す。	○	
認知症カフェの開催・支援	認知症カフェ参加者満足度	78 %	82.9	78	86.2	地域包括支援センターにおいて、認知症当事者及びその家族が心地よく過ごせる居場所づくりや他者との交流を目的とした認知症カフェを年94回（カフェ64回、介護者交流会30回）開催できた。常設型だけでなく、出張型での認知症カフェも取り入れ、より市民が参加しやすいよう開催形態にも工夫を加えている。その結果、参加者の満足度が3.3ポイント増加した。令和6年度も、より多くの市民のかたが認知症カフェの存在を知り、参加につながるよう引き続き取り組んでいく。	◎	
認知症相談支援体制の充実	認知症相談件数（延べ）	1,199 件	1,301	1,290	1,333	全地域包括支援センターに認知症の人やその周囲の人の相談窓口として、認知症地域支援推進員を配置し、認知症に関する相談を広く受け付けられる体制をとっている。また、地域包括支援センターと居宅介護支援事業所、介護サービス事業所等が連携することで、認知症の早期発見に努めるなど効果的な支援を行った。令和6年度も、引き続き取り組んでいく。	◎	

【主な取り組み】 認知症バリアフリーの推進

事業名	指標					令和5年度の取組状況，令和6年度の取組予定 等	令和5年度の評価	コロナの影響
	項目	基準値	令和4年度	令和5年度				
			実績	指標	実績			
かしわオレンジSOSネットワーク事業	かしわオレンジSOSネットワーク協力事業所数（累計）	70 事業所	138	110	159	認知症サポーター養成講座の周知とあわせて，各地域包括支援センターより市内事業所に対し，積極的に働きかけた。その結果，指標を上回る事業所に協力が依頼できた。令和6年度も引き続き取り組むことで，協力事業者の増加に努める。	◎	

【政策目標】 介護度が重度であっても望む暮らしを選択できる

政策目標名	項目	基準値	指標		
			令和4年度	令和5年度	
			実績	指標	実績
介護度が重要であっても望む暮らしを選択できる	【アウトカム】生活に満足していると答えたかたの割合	35.5 %	36.3/32.4※	—	—
	【アウトカム】要介護3以上のかたの在宅率	49.6 %	50.6	—	52.0

※2種類のアンケートを実施

【重点施策】 介護サービス等の基盤整備

重点施策名	項目	基準値	指標		
			令和4年度	令和5年度	
			実績	指標	実績
介護サービス等の基盤整備	【アウトカム】家族が就労を続けられる割合	85 %	72.9	—	—

【主な取り組み】 介護サービスの整備

事業名	指標					令和5年度の取組状況，令和6年度の取組予定 等	令和5年度の評価	コロナの影響
	項目	基準値	令和4年度	令和5年度				
			実績	指標	実績			
施設・居住系介護サービスの公募による整備	介護老人福祉施設の総定員数（施設数）	1,515 (24)	総定員数 (か所)	1,628 (25)	1,828 (27)	1,728(28)	介護老人福祉施設について，事業者都合等様々な諸問題が発生したため，100床分が令和5年度内に開所できなかったが，令和6年度に開所予定である。 特定施設入居者生活介護については，令和5年度に80床の施設が開所したが，現状の市内特定施設入居者生活介護の利用状況及び8期期間中における他の介護施設の整備状況を鑑み，残り20床分は整備しなかった。 令和6年度については，介護老人福祉施設の整備・運営事業者を選定する公募を実施予定である。 ※認知症対応型共同生活介護（増床12床）分については，R6.4.1に開所予定であることから，実績には反映していない。	△
	介護老人保健施設の総定員数（施設数）	920 (9)	総定員数 (か所)	920 (9)	920 (9)	920(9)		
	介護医療院の総定員数（施設数）	19 (1)	総定員数 (か所)	19 (1)	19 (1)	19(1)		
	特定施設入居者生活介護の総定員数（施設数）	1,000 (10)	総定員数 (か所)	1,000 (10)	1,100 (11)	1,080(11)		
	認知症対応型共同生活介護の総定員数（事業所数）	423 (27)	総定員数 (か所)	458 (29)	495～513 (31)	494(31)		

在宅での暮らしを支えるサービスの整備	小規模多機能型居宅介護の事業所数	9 か所	9	10	9	小規模多機能型居宅介護について、市内施設利用状況等を鑑み公募を実施しなかった。 看護小規模多機能型居宅介護について、令和5年度に実施した公募にて1事業者を選定したが、諸問題が発生し、令和5年度中に開所できず、令和6年度に開所予定である。 定期巡回・随時対応型訪問介護看護は、令和5年度に実施した公募で2事業者が選定された。 令和6年度は、左記に示す事業所の公募のスケジュール等を検討する予定である。 ※定期巡回・随時対応型訪問介護看護1施設分はR6.4.1開所であるため、実績には反映していない。	△	
	看護小規模多機能型居宅介護の事業所数	1 か所	1	3	1			
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護の事業所数	4 か所	4	8	6			
在宅福祉サービスの実施	事業の周知	3 回	3	7	5	出前講座等で事業の周知を行った。 登録者数では、主に緊急通報システム、介護給付（紙おむつ）の登録者数が増加した。	○	
	登録者数	2,008 人	2,170	2,090	2,196			

【主な取り組み】 介護人材の確保

事業名	指標					令和5年度の取組状況，令和6年度の取組予定 等	令和5年度の評価	コロナの影響
	項目	基準値	令和4年度	令和5年度				
			実績	指標	実績			
介護人材確保対策事業	「柏の○（わ）」の実施回数	実施 回	実施	実施	実施	「柏の○（わ）」については，令和6年1月に専門学校 の学生と介護施設等の若手職員の交流・研修会を開催した。令和6年度は，開催内容や時期等について事業者団体と協議を行い，開催に向けて準備を進める。「介護のしごと相談会」については，これまで，障害福祉事業所とは別のイベントとして開催していたが，令和5年度は，「福祉のしごと相談会」と名前を変え，障害福祉事業所と一体となった形で開催した。総来場者数は124人と指標を上回る来場者数であった。令和6年度は，10月の開催に向け準備を進めるとともに，引き続き，効果的な周知方法を検討していく。	○	
	「介護のしごと相談会」の来場者数	58 人	108	80	124			
介護資格取得の受講費用に対する補助	介護職員初任者研修の補助金交付者数	14 人	49	20	48	令和5年度の介護職員初任者研修及び介護職員実務者研修の補助金交付者数は，事業者や来庁者に丁寧な周知や申請の簡略化を行った効果もあり，指標を上回る結果となった。令和6年度は，受付枠を増やし，引き続き丁寧な周知等を行う。	○	
	介護職員実務者研修の補助金交付者数	25 人	59	35	94			
人手不足でもサービスの質の維持・向上を実現するための介護事業者への支援	補助金等による事業者への支援	－ ー	実施	実施	実施	介護現場の業務改善を支援するため，モデル施設での業務改善の成果を他の施設に広げることを目的に，視察会を開催した。令和6年度以降は，ICT化が進んでいる他の施設への視察会など，モデル施設と協力した事業を検討していく。	○	
文書負担削減の取り組み	文書負担削減の取り組み	－ ー	－	実施	実施	厚労省の通知を踏まえ，申請書類の標準化を進め，メールやＬｏｇｏフォームでの提出を推進した。令和6年度は電子申請を導入し，事業所の負担軽減を図っていく。	○	
介護関係団体への支援	介護関係団体への支援	－ ー	実施	実施	実施	柏市介護サービス事業者協議会については，理事会等の実施協力をしており，令和2年度に立ち上げた訪問介護連絡会については，参加事業所を増やすため，周知を行っている。引き続き介護事業所との連携を図っていく。また，介護事業所の業務改善支援として，モデル施設への視察会を企画し，ノウハウの横展開を図った。	○	

【政策目標】 介護度が重度であっても望む暮らしを選択できる

【重点施策】 介護保険制度の持続可能性の確保

重点施策名	指標				
	項目	基準値	令和4年度	令和5年度	
			実績	指標	実績
介護保険制度の持続可能性の確保	【アウトカム】要介護度の維持・改善率（80～84歳）	68 %	66	-	62.1

【主な取り組み】 介護保険事業の適正な運営

事業名	指標					令和5年度の取組状況，令和6年度の取組予定 等	令和5年度の評価	コロナの影響	
	項目	基準値	令和4年度	令和5年度					
			実績	指標	実績				
柏市ケアマネジメントに関する基本方針	関係者への周知	—	—	実施	実施	実施	基本方針をホームページに掲載（高齢者支援課）。柏市介護支援専門員協議会総務会にて，柏市ケアマネジメントに関する基本方針の周知を行った。引き続き同方針の共有を図っていく（地域包括支援課）。	○	
介護給付の適正化の推進	30日以内に要介護（要支援）認定をする割合	33 %	21	52	26	事務受託法人への調査委託の開始，担当ケアマネによる委託認定調査の実施推奨，認定調査点検員の欠員補充，主治医意見書の早期入手のための催促・病院訪問，調査委託件数数の増加依頼を実施した。引き続き，令和5年度から開始した事務受託法人への調査委託を円滑に進めることで認定日数の短縮を図る。	△	有	
	ケアプラン向上プロジェクト（ケアプラン点検）実施回数	27 回	16	24	4	ケアプラン向上プロジェクトの参加を希望制としたため，点検件数が指標に届かなかった。しかし，受講したケアマネジャーの全てが，点検後のアンケート調査において「今後の作成に寄与する」と回答した。この他の取り組みとして，認定状況と給付状況を突合して不適切と思われるケアプランを抽出し，124件の抽出結果に対して事業者への確認依頼を行った。令和6年度もこの方法により継続して取り組みを進める予定である。	○		
適正化システムを活用した給付分析	定期点検の実施回数	1 回	1	2	1	民間のケアプラン分析システムを活用し，認定状況と給付状況を突合して不適切と思われるケアプランを抽出し，124件の抽出結果に対して事業者への確認依頼を行った。令和6年度も継続して取り組みを進める予定である。	○		
介護サービス事業所への集団指導の実施	集団指導実施回数	1 回	1	1	1	新型コロナウイルス感染症の影響により，会場で開催する方式での集団指導は実施せず，市ホームページでの動画配信及び資料掲載により実施した。	○	有	
介護サービス事業所への個別指導（実地指導）の実施	介護サービス事業所実地指導割合（実地指導件数／事業所数）	26 %	4	17	14.5	新型コロナウイルス感染症の影響もあり，計画数を若干下回る実施件数となった。令和6年度も感染対策に留意しながら実施する。	○	有	
身体拘束の廃止研修の実施	身体的拘束等に係る研修実施回数	1 回	0	1	0	新型コロナウイルス感染症の影響により，介護事業所の職員を集めて実施することが困難であったため，千葉県で行っている高齢者権利擁護・身体拘束廃止指導者養成研修の周知を行い参加を促した。令和6年度は，省令改正により事業所における措置が義務付けられたことを踏まえ，研修を実施し理念の浸透を図る。	△	有	
制度の適切な利用等についての周知啓発	介護保険かんたん手引きの配布数	23,000 部数	23,000	23,000	23,000	各種冊子を作成し，周知啓発を実施。また，第8期プランの出前講座として，概要や第7期プランとの変更点について薬剤師研修会にて説明を行った。	○		

【政策目標】 介護度が重度であっても望む暮らしを選択できる

【重点施策】 在宅医療・介護の連携の推進

重点施策名	指標				
	項目	基準値	令和4年度	令和5年度	
			実績	指標	実績
在宅医療・介護の連携の推進	【アウトカム】在宅医療を受けている人の生活満足度	63 %	60	増加	-

【主な取り組み】 在宅医療・介護多職種連携の向上

事業名	指標					令和5年度の取組状況，令和6年度の取組予定 等	令和5年度の評価	コロナの影響
	項目	基準値	令和4年度	令和5年度				
			実績	指標	実績			
顔の見える関係会議	会議参加により連携しやすくなったと思った医療介護職の割合	70 %	83	80	79	令和4年度は、オンラインと参集の併用で実施したが、令和5年度は計6回のすべての会議（全体会議，アドバンス会議，圏域会議4エリア）を，参集で実施。参加前，参加直後，3か月後アンケートにて評価行い，基準値を超える方が会議に参加することで連携しやすくなったと回答した。令和6年度も参集にて実施予定。	◎	有
在宅医療推進のための多職種連携研修会	市内の在宅療養支援診療所数	35 か所	36 R5.3.1時点	37	36	新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度～4年度まで開催を見合わせていたが，令和5年度参集研修とeラーニングを組み合わせた新たな方法で実施。受講者の負担感を減らしながらも，充実した研修会を開催することができた。 令和6年度も開催予定。	◎	有
	他職種とのコミュニケーションが重要だと理解した者	－ %	－	増	－			
情報共有システム運用・管理	新規に開設した部屋数	89 件	56	103	53	部屋の新規開設数は令和4年度と比較しほぼ横ばいだった。また，情報共有システムの運用や管理にあたり年1回実施している現況確認や個人情報保護研修会では，周知等の工夫により，現況届の回収率は100%，研修会の受講者は令和4年度と比較し増加となった。令和6年度は，情報共有システムのより効果的な活用に向けた取組を行う予定。 なお，令和5年度稼働した部屋数は111件，平成24年度からの累計部屋開設数は790件。	○	

【主な取り組み】 在宅医療提供体制の整備

事業名	指標					令和5年度の取組状況，令和6年度の取組予定 等	令和5年度の評価	コロナの影響
	項目	基準値	令和4年度	令和5年度				
			実績	指標	実績			
訪問看護ステーション基盤強化	訪問看護ステーションに勤務する看護師の常勤換算数	6 人	6.58	5.5	5.7	千葉県の交付金制度を活用し，基盤強化（大規模化等）を図る意欲のある事業所への支援（補助金の交付）を実施しているが，令和5年度の実績は6事業所であった。 令和6年度は6事業所が基盤強化実施の意向を示しており，要件に合う事業所への支援を引き続き行う。	○	
病院と在宅との連携強化研修会	研修会参加後に「在宅医療へのイメージや考え方に変化があった」と回答した病院職員の割合	70 %	—	70	—	新型コロナウイルス感染症のまん延に伴い，令和4年度まで実施を見合わせていたが，令和5年度から再開した。 令和5年度は，市内病院で年1回開催し，在宅と病院との連携に関して情報共有を行った。参加直後と，3か月後にアンケートにて評価予定。左記項目に関しては，3か月後アンケートにて7月頃分析する。令和6年度も開催予定。	○	有
看取り体制構築に対する支援	看取りを行う施設数	17 件	19	増加	21	看取り体制構築に向けた取組を実施 ○施設看護職員ネットワーク会議 令和5年度は年2回実施し，各施設の看取り体制について情報共有し，各施設で取り組めることについて検討を行った。令和6年度も年2回開催予定。 ○庁内連携会議について 高齢者施設に関わる庁内関係部署と，看取りに係る課題について情報共有を行った。令和6年度も開催予定。	○	有

【主な取り組み】 地域住民への普及啓発

事業名	指標					令和５年度の取組状況，令和６年度の取組予定 等	令和５年度の評価	コロナの影響
	項目	基準値	令和４年度	令和５年度				
			実績	指標	実績			
在宅医療啓発事業	通院が困難になった場合に、在宅医療を利用できると知っている市民の割合	70 %	69.7	75	63.8	令和５年度は、前年度に実施したスープレシピコンテストについて、在宅医療情報紙「わがや」特別号（９月発行）での特集や、最優秀賞スープレシピの道の駅しょうなんでの提供といった啓発活動を実施した。また、「わがや」第２２号（３月発行）では、在宅医療の入口でもある地域包括支援センターの役割について特集し、２号続けて過去最多のアンケート回収数（クイズ応募者数）を更新した。在宅医療出前講座では、徐々にコロナ禍以前の状況に戻ってきており、専門職による出前講座を再開した。また、部会の目的（目指す姿）である「人生最期の暮らし方を近しい人と日頃から話し合っている状態」に近づけるため、当面の目標「人生最期の暮らし方を言語化している状態」と、その目標達成に向けた取り組みとしての活動指針（「選択肢として在宅医療があること」や「自身の価値観を近しい人に伝える必要性」を伝えること）を設定した。令和６年度は、当面の目標を達成するため、「わがや」の制作や出前講座の拡充（専門職の参加）を中心に取り組んでいく。	○	有

【主な取り組み】 地域医療拠点（柏地域医療連携センター）の運営

事業名	指標					令和５年度の取組状況，令和６年度の取組予定　等	令和５年度の評価	コロナの影響
	項目	基準値	令和４年度	令和５年度				
			実績	指標	実績			
在宅医療相談	相談を解決した割合	98　％	100	100	100	相談内容を丁寧に聞き取り，情報提供や必要な連携調整を行っている。 柏市医師会より選出いただいた在宅プライマリケア委員会の医師による医療相談レビューを行い，当センター相談員の相談対応スキルの向上に努めている。	○	有

【政策目標】 意思が尊重され自立して暮らせる

政策目標名	指標				
	項目	基準値	令和4年度	令和5年度	
			実績	指標	実績
意思が尊重され自立して暮らせる	【アウトカム】住んでる地域に愛着があると答えた人の割合	79.0 %	78.9	—	—

【重点施策】 地域包括支援センターの機能強化

重点施策名	指標				
	項目	基準値	令和4年度	令和5年度	
			実績	指標	実績
地域包括支援センターの機能強化	【アウトカム】地域包括支援センターの相談や問い合わせへの対応満足度	77 %	78.4	80	集計中

5月下旬にまとめ、夏開催の運営協議会の承認を経て決定する予定

【主な取り組み】 総合相談支援機能の充実

事業名	指標					令和5年度の取組状況、令和6年度の取組予定 等	令和5年度の評価	コロナの影響
	項目	基準値	令和4年度	令和5年度				
			実績	指標	実績			
介護予防・生活支援サービス事業（介護予防ケアマネジメント）	要支援者等のケアプランへ多様な社会資源の活用を位置づけている割合	21 %	43.1	30	48.4 R5.9.1時点	地域包括支援センター主任介護支援専門員との連携会議及び介護予防個別会議の中で、インフォーマルサービスの活用を働きかけた。このほか、センターが地域の居宅介護支援事業所に向け研修や事例検討会を開催し、多様な社会資源の紹介やケアプランチェックリストの活用を促すことで、適切なサービス提供による自立支援・重度化防止を目指した介護予防ケアマネジメントに取り組んだ。 引き続き令和6年度も、地域包括支援センター主任介護支援専門員との連携会議や介護予防個別会議を実施し、センターや地域の介護支援専門員に対し、自立支援に資するケアマネジメントについて働きかけていく。	◎	有
総合相談支援業務	相談件数	17,614 件	15,504	19,000	15,067	新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けていた令和3年度と比較し相談数は増加しているが、指標を下回る結果となった。今後も、リーフレットやホームページを活用するとともに、民生委員等、地域関係団体との連携を図り、引き続き地域包括支援センターの周知に努める。	○	

【主な取り組み】 地域包括支援センターの活動評価

事業名	指標					令和5年度の取組状況、令和6年度の取組予定 等	令和5年度の評価	コロナの影響
	項目	基準値	令和4年度	令和5年度				
			実績	指標	実績			
地域包括支援センター事業評価の実施	事業評価の実施	実施 ー	実施	実施	実施	地域包括支援センターによる自己評価や行政評価、利用者や関係機関へのアンケートによる評価を実施したところ、全国平均を上回る結果であった。令和6年度も評価を行い、PDCAを通じた機能強化を図る。	◎	

【主な取り組み】 地域包括支援センターの適正配置

事業名	指標					令和5年度の取組状況，令和6年度の取組予定 等	令和5年度の評価	コロナの影響
	項目	基準値	令和4年度	令和5年度				
			実績	指標	実績			
地域包括支援センターの適正配置	地域包括支援センター常勤職員数	71 人	74	77	72	国が定める職員配置基準の目安を用いて職員の配置方針を決定しているが，令和5年度は年度中に生じた欠員の補充を受託法人に促したものの補充には至らず，指標は達成できなかった。令和6年度においても，引き続き，受託法人に対して欠員の補充を促していく。	△	

【政策目標】 意思が尊重され自立して暮らせる

【重点施策】 権利擁護の充実

重点施策名	項目	基準値	指標		
			令和4年度	令和5年度	
			実績	指標	実績
権利擁護の充実	【アウトカム】身近な相談相手や相談場所がある人の割合	94.3 %	94.5	-	-

【主な取り組み】 高齢者虐待防止の相談支援

事業名	指標					令和5年度の取組状況、令和6年度の取組予定 等	令和5年度の評価	コロナの影響
	項目	基準値	令和4年度	令和5年度				
			実績	指標	実績			
(仮称) 柏市権利擁護ネットワーク高齢者部会運営会議の開催	(仮称) 柏市権利擁護ネットワーク高齢者部会の構成団体等	機 関・団体 39	39	39	39	障害者、高齢者等の既存会議を統合し、新たに全体会として柏市権利擁護ネットワーク会議を設置し、その下部組織として高齢者部会を設置した。令和5年度の開催時には、地域包括支援センターや介護サービス事業所に加え、医師会や警察等、幅広い分野の委員の出席によりネットワークの構築に向けた意見交換を行った。令和6年度においても、引き続き実施する。	◎	
地域包括支援センターでの相談・対応	高齢者虐待対応の終結割合	50 %	71	55	68.4	令和4年度に引き続き、虐待通報を受けた後には迅速にコア会議を開催し、市と地域包括支援センターの連携のもとで、支援方針や役割分担等、効率的かつ効果的な支援を目指した。その成果が反映され、令和5年度も指標を上回る終結割合となった。令和6年度においても、地域包括支援センターとの連携により適切な支援を行うと共に、事例への対応に取り組んでいく。	◎	
高齢者緊急一時保護事業	高齢者緊急一時保護件数	17 件	7	10	4	養護者による虐待や認知症で帰来先がないなど、やむを得ない事由がある事案に対し、対象となる高齢者の緊急一時保護を行った。令和4年度に引き続き、地域包括支援センターや介護支援専門員、介護サービス事業所、医療機関等との連携を強化し、早期発見・早期対応に取り組んだ。その結果、早期から適切な支援により介護保険サービスの利用につなげることで、昨年度の件数よりも更に減少した。令和6年度においても迅速かつ適切な支援に努める。	◎	

【主な取り組み】 成年後見制度の普及啓発

事業名	指標					令和5年度の取組状況, 令和6年度の取組予定 等	令和5年度の 評価	コロナ の影響
	項目	基準値	令和4年度	令和5年度				
			実績	指標	実績			
成年後見制度に関する相談	成年後見に関する相談件数	249 件	494	290	499	一次相談機関である地域包括支援センターと、成年後見制度に係る中核機関である社会福祉協議会が連携し、利用者に対する制度説明や申し立て事務に対する積極的な支援を行った。令和6年度においても引き続き双方の連携により成年後見制度の利用促進に向けた周知啓発を行う。	◎	
市民後見人の育成、活動支援	市民後見人の受任件数	7 件	15	10	18	平成29年度から令和5年度末までに13名の市民後見人が裁判所から選任されており、その間に延べ18件の後見業務を受任している。令和6年度も身上保護等が安定している事案を中心に、柏市社会福祉協議会の法人後見からの移行を経て市民後見人への受任が進められるよう、同協議会と連携し育成支援する。また、第7期市民後見人養成研修は令和6年度から2か年かけて取り組んでいく。	◎	
成年後見制度利用促進のための中核機関の設置	後見人等候補者調整会議の取扱件数（高齢者）	27 件	18	30	30	認知症高齢者等の増加に伴い、令和5年度は親族の協力が得られにくい認知症高齢者等の成年後見市長申立てに関する相談が増加。これを受け、速やかに後見人等候補者調整会議に諮り、千葉家庭裁判所に市長申立てを行った。令和6年度も地域包括支援センター、成年後見利用促進の中核機関である柏市社会福祉協議会と連携し、候補者調整会議が効果的となるよう開催していく。	◎	

【主な取り組み】 特殊詐欺や消費者トラブルの未然防止

事業名	指標					令和５年度の取組状況，令和６年度の取組予定 等	令和５年度の評価	コロナの影響
	項目	基準値	令和４年度	令和５年度				
			実績	指標	実績			
特殊詐欺や消費者トラブルの未然防止	防犯講習会実施回数	44 回	28	50	28	令和４年度と同様に町会向けに特殊詐欺防止講話を実施。令和６年度はさらに町会・自治会などに積極的に講習会を実施していくよう，啓発強化を図っていく。 また昨年度に引き続き，特殊詐欺対策用自動通話録音機取付事業および特殊詐欺対策電話機等購入等補助金を実施する。また，青色防犯パトロール車で地域を巡回し，特殊詐欺をはじめとする犯罪被害の抑制を図っていく。	○	
	60歳以上の高齢者からの消費生活相談件数	1,450 件	1,565	1,450	1,483	令和５年度の60歳以上の高齢者からの相談件数は1,483件で，昨年度（1,565件）と比べ82件の減少ではあったが，依然として総相談件数の約４割を占めている。引き続き消費生活相談業務の中で，消費者トラブルの解決，未然防止のための助言を行うとともに，消費者トラブルを未然に防止するため，地域の多様な高齢者見守りネットワーク団体（消費生活コーディネーター及び地域包括支援センター，民生児童委員，ふるさと協議会等）への情報提供等，連携を継続しながら，啓発強化を図っていく。	◎	

【政策目標】 意思が尊重され自立して暮らせる

【重点施策】 多様な主体との地域づくりの推進

重点施策名	指標				
	項目	基準値	令和4年度	令和5年度	
			実績	指標	実績
多様な主体との地域づくりの推進	【アウトカム】住んでいる地域に愛着があると答えた人の割合（再掲）	79 %	78.9	-	-

【主な取り組み】 超高齢社会のまちづくりモデル

事業名	指標					令和5年度の取組状況、令和6年度の取組予定 等	令和5年度の評価	コロナの影響
	項目	基準値	令和4年度	令和5年度				
			実績	指標	実績			
産官学で取り組む先進的なまちづくり	—	—	—	—		東京大学、UR都市機構との三者協定の下実施している柏市豊四季台地域高齢社会総合研究会(三者研)や地域包括ケアWGについては、予定通り会議を開催した。三者研については、令和6年5月に期間の終了に伴い、協定は終結する。今後は、基盤として出来ている事業を個々の担当で推進していく。生活支援体制整備でのささえ愛実行委員会も予定通り開催し、令和6年度はささえ愛実行委員会は支えあい会議と統合して会議を開催する。	○	

【主な取り組み】 関係団体等との連携体制の整備

事業名	指標					令和5年度の取組状況，令和6年度の取組予定 等	令和5年度の評価	コロナの影響
	項目	基準値	令和4年度	令和5年度				
			実績	指標	実績			
生活支援体制を整備するための、多様な組織との連携	支えあい会議の開催数	34 回	22	20～40	41	コロナ禍の経験から、We b会議や少人数のコア会議とするなど地域により工夫がなされ、多くの地域で会議を開催し、現状報告や課題などの情報共有を行うことができた。令和6年度においては、地域に合わせネットワークを構築・強化できるよう効果的な開催を目指す。	◎	有
地域共生社会の実現	地域いきいきセンターの設置か所数（再掲）	6 か所	9	10	10	令和5年5月，市内10カ所目の新田原地域いきいきセンターを開所した。また，令和6年度5月には風早北部地域いきいきセンターの新規開設が控えており，令和5年度中に地域及び関係機関と調整を図り準備を進めた。令和6年度以降の開設候補地について，柏市関係課との打ち合わせを実施した。	○	

【主な取り組み】 都市・交通政策部門との連携

事業名	指標					令和5年度の取組状況，令和6年度の取組予定　等	令和5年度の評価	コロナの影響
	項目	基準値	令和4年度	令和5年度				
			実績	指標	実績			
住まいの確保や住まいの選択を支援する体制整備	高齢者人口に対する高齢者向け住宅等の供給割合	3　%	3.6	3	3.7	令和5年度末現在のサービス付き高齢者向け住宅登録件数は44箇所1,931戸。整備中の1箇所60戸を除き，整備済みの住宅数は43箇所1,871戸（前年比11戸増）。	○	
高齢者の外出や社会参加を促進するためのまちづくり	ノンステップバスの導入率	87　%	88.2	90	87.7	市内のノンステップバス導入率は，県内平均の72.4%を上回り高い水準を保つことが出来ている。ノンステップバスの導入は市内バス事業者が行っているため，今後も事業者との連携を強化していくほか，ホームページや柏市バス路線図マップの作成を通し，バスの利用促進に努める。	○	